

世界**生産****第 2 四半期の繊維生産順調に拡大**

ITMF は第 2 四半期の世界の繊維生産、在庫量を発表した。生産は引き続き順調に増加し、前期、前年同期と比較して大幅に伸びている。

生産のうち、糸類は世界全体で前期比 18.6% 増。地域別ではアジア 19.8% 増、南米 10.1% 増、ヨーロッパ 5.3% 増、北米 4.7% 増。前年同期比でも南米の 21.9% 増をはじめ、ヨーロッパ 20.3% 増、アジア 11.1% 増、北米 4.7% 増となっている。また織物生産も世界全体で前年同期比 10.4% 増と大きく伸長。地域別ではアジア 17.5% 増、南米 11.2% 増、北米 6.9% 増となっている。

在庫は、糸は前期比 1.4% の微増。南米で 40% 増と急増したものの、ヨーロッパは 0.3% 増と横ばい、アジアは 0.8% 減と微減となった。また織物は前期比 1.5% 増、アジア、北米、ヨーロッパでそれぞれ 2.4%、0.8%、0.7% 増加し、南米は 0.5% の微減。前年同期比では、南米やアジアでそれぞれ 45.2% 増、19.8% 増と増加したが、北米やヨーロッパはそれぞれ 9.9%、0.2% 減少した。

中国**繊維政策****第十二次五カ年計画における技術開発綱要**

第 12 次五カ年計画（十二五）の繊維産業における科学技術発展綱要が 11 月 19 日に発布された。そのポイントは、50 項目の重要技術の攻略と 110 項目の先進技術の応用、設備の向上（「50+110」）によって繊維業界全体の技術レベルを高めることである。50 項目には、繊維材料の基礎研究、高性能繊維の産業化、新しい技術開発、染色のハイテク化などを含み、110 項目には先進技術の活用を広めること、繊維素材の先進加工技術、紡織設備、染色技術の応用、情報化技術の向上などが含まれる。

中国紡織工業協会によると、第十一次五カ年計画中には、繊維業界は 28 項目の重要技術、10 項目の新型設備プロジェクトによって、技術開発、産業化を進めた結果、自主開発能力が向上、高性能繊維、機能性繊維、差別化繊維に大きな発展があったという。第十一次五カ年計画中に、大手繊維企業の研究開発費および規模以上企業の新製品の生産額は倍増となり、国家科学技術賞を獲得したプロジェクトは 22 件、繊維業界の実用特許取得件数は毎年 1,000 件増加したという。しかし、中国紡織工業協会によると、中国の紡織業界の研究開発能力は依然として弱く、

特に知的財産所有権を有する技術開発の遅れや新製品の開発能力の不足から、第十二次五カ年計画では、基礎研究の強化、高性能繊維、新型繊維材料の研究開発・産業化の強化が重要と指摘している。そして、2015年には繊維業界の規模以上企業の労働生産性は2010年に比べて倍増する見込みであるとしている。

業 績 **化繊産業の業績、好調続く**

中国紡織工業協会によると、2010年の1～9月の中国の化繊生産は前年同期比14.25%増の2,236.66万トとなった。1～8月の化学繊維輸入は0.95%増の57.87万ト、同期間の化学繊維輸出は39.21%増の128.39万トとなった。

2010年1～8月の化学繊維業界の利益は、前年比倍増の142.77億元となった。

2010年に入り、内需の拡大、海外市場の回復とともに、中国の化繊業界の景況は良好な状況を維持し、生産、販売は安定して成長し、輸出、利益は大幅に増加した。

2010年1～8月の化繊業界の利益総額

(億元)

	利益額	前年同期比
化合繊	142.77	103.38%
レーヨン	22.80	-9.27%
ポリエステル	81.47	171.66%
アクリル	0.41	黒字転換
ナイロン	11.08	139.83%

2010年1～8月の化繊業界の工業生産総額は前年同期比31.06%増の3086.98億元、業務収入は31.88%増の3065.40億元となった。但し、第3四半期は浙江、江蘇省を中心に電力使用制限により化繊工場の稼働率が下がったこと。そして、その影響から、1～8月の化繊業界の平均生産販売率は97.81%と前年同期に比べ0.42ポイント下がった。

金融危機後、回復度が早かったこともあり、化繊業界への投資は回復傾向にある。1～8月の化繊業界のプロジェクト件数は401、うち、新規着工は253件となった。実際完成投資額は前年同期比50.85%増の237.37億元となった。品種別には、ポリエステルが前年同期比倍増の伸びとなり、ナイロン、レーヨンも高い伸びとなった。

米国・メキシコ

合繊経営

Indorama、INVISTA のポリエステル事業を買収へ

タイの Indorama Ventures Public Company Limited は 11 月 12 日、INVISTA より、米国 Spartanburg, SC およびメキシコ Querétaro のポリエステル工場を買収することで最終合意を締結したことを発表した。

当該買収の総額は 4.2 億ドルで、2.29 億ドルの純固定資産および出資者利益、1.74 億ドルの純運転資本を含み、今後契約書で合意された調整を行うことが条件となっている。必要な認可を得たうえで、2011 年第 3 四半期に取引は完了する見通しである。

買収される 2 工場の概要は以下の通り；

Spartanburg 工場... ボトルなどの包装用 PET 樹脂、ポリエステル短繊維および特殊ポリマーを製造。総能力は 47 万トン/年、従業員は約 490 名。ポリエステル短繊維の生産能力は年産 6 万トン程度（推定）。

Querétaro 工場... ポリエステル短繊維および PET 樹脂を製造。総能力は 53.5 万トン/年、従業員は約 535 名。ポリエステル短繊維の生産能力は年産 3 万トン程度（推定）。

両工場が買収されるのにともない、両工場に関係する INVISTA のポリマー & 樹脂部門のオペレーション、マーケティング、営業、カスタマーサービス、研究開発等のスタッフは、引き続き Indorama に雇用される見通しである。

この買収により、Indorama Ventures は世界最大級の PET 樹脂メーカーとなるほか、その北米事業が強化されることになる。同社は現在米国で、Asheboro, NC において PET を製造（StarPET）、Decatur, AL では最新鋭 MTR PET を製造している（AlphaPET）。このほかに以下の買収メリットがあるとされている。

- ・ Querétaro 工場取得による新規顧客・市場へのアクセス
- ・ Spartanburg 工場取得による米国の特殊ポリエステル繊維市場へのアクセス
- ・ 研究開発能力の強化
- ・ AlphaPET や StarPET を含む Indorama Ventures の既存事業との統合メリット
- ・ 生産のフレキシビリティの向上

Indorama Ventures はタイに本社を置くポリエステル企業。従業員は全世界で約 3,500 人、年間売上は約 23 億ドル。米国、リトアニア、オランダ、英国、タイの 5 カ国に製造拠点を有している。生産能力は PET が

年産 150 万ト、ポリエステル繊維が同 24.5 万ト、PTA が同 160 万ト。
 同社は最近、中国の広東信達化織有限公司（Guangdong Shinda UHMWPE Co., Ltd）より広東省開平市の PET 工場（年産 40.6 万ト）を買収することで合意している。

< Indorama Ventures の工場 >

国	工場	製造品種
米 国	Asheboro, NC	PET
	Decatur, AL	PET
リトアニア	Klaipeda	PET
オランダ	Rotterdam	PTA/PET
英 国	Wokington	PET
タ イ	Lopburi	PET
	Nakhon Pathom	ポリエステル繊維
	Rayong	PTA
	Map Ta Phut	PTA/ポリエステル繊維

Indorama Ventures は Indorama グループの傘下企業。Indorama グループ傘下のポリエステル繊維企業としては、PT Indorama Synthetics Tbk があり、インドネシアでポリエステル S（年産 6.5 万ト）、ポリエステル F（同 10 万ト）、ポリエステルチップ（11.5 万ト）を製造している。

ちなみに、Eastman Chemical が先に、PET および PTA 事業を 6 億ドルで DAK Americas に売却することで合意しており、世界の PET 企業の地図が塗り替えられようとしている。